

### セット内容

- 取扱説明書(本紙)×1
- ダイブどうろ用ガードフェンス×1
- 立体合流どうろ×1
- ダイブどうろ
- 電動スロープM×1
- ダイブどうろ(本体)×1
- ガードフェンス取付用橋脚×1
- ガードレール×2
- 坂直どうろ×1
- 坂曲どうろL×4
- 分岐どうろL×2
- 3段スロープ×1
- エンドどうろ×1
- 1段橋脚×2
- 2段橋脚×2
- 3段橋脚×3
- 4段橋脚×6
- 8段橋脚×4

### 電池の入れ方

〈電動スロープM側面〉

- ①電池ボックスカバーのネジをプラスドライバーで左に回し、ネジをゆるめ電池ボックスカバーを外します。
- ②単2形アルカリ乾電池2本を④⑤の間違えないように正しく入れてください。
- ③電池ボックスカバーのツメからはめて、閉じます。
- ④ネジを右に回し、締めます。
- ⑤スイッチをONにすると、スロープが可動します。

### パーツの特徴

■坂どうろパーツ(傾斜があるどうろ)

1本につき1段橋脚分の傾斜がつかます。

坂直どうろ: 1段分

坂曲どうろL: 1段分

坂曲どうろ: 1段分

※裏面にしと進行方向を示す刻印があります。

※裏面に進行方向を示す刻印があります。

### 特別などうろパーツ

■電動スロープM

上下2本のどうろを1本に合流させるどうろです。

可動スロープ

※可動スロープが外れた場合は図のように取り付けてください。

■分岐どうろL

レバー

レバーを切り替えるとトミカの進路が変わります。

■3段スロープ

1本につき3段橋脚分の傾斜がつかます。

■ダイブどうろ

コースからトミカが飛び降りるどうろです。

左図のようにダイブどうろ用ガードフェンス取付用橋脚にダイブどうろ用ガードフェンスを取り付けます。

※下に橋脚を挟まない場合は取り付けなくてください。

①~③の3カ所にコースをつなげられます。

①、②から飛び降りたトミカが③と合流します。

接続するコースの高さに合わせて橋脚を挟みます。

※5段以上はきままないようにしてください。

※車権によらず転倒する場合があります。

※可動スロープが外れた場合は図のように取り付けてください。

### パーツの組み方

■坂曲どうろ

どうろ裏面の凹と橋脚の凸を合わせます。

■電動スロープ

どうろ裏面の凹と電動スロープの凸を合わせます。

■橋脚

上下に重ねることができます。

※「どうろ」と「どうろ」の接合は緩くなっており、不良ではございません。「橋脚」と「どうろ」はしっかり接合されます。

### 組み立て方

レイアウトサイズ 約W744×H236×D506mm

1

2段橋脚

4段橋脚

1段橋脚

4段橋脚

橋脚番号の見方

①~④、⑧: 1段~4段、8段橋脚

⑤: ダイブどうろガードフェンス取付用橋脚

⑥: ダイブどうろ(本体)

2

立体合流どうろ

2段橋脚

3段スロープ

8段橋脚

3段橋脚

4段橋脚

3

ダイブどうろ用ガードフェンス取付用橋脚

3段橋脚

ダイブどうろ(本体)

1段橋脚

分岐どうろL

8段橋脚

3段橋脚

4

坂曲どうろL

分岐どうろL

4段橋脚

坂曲どうろL

坂曲スロープ

8段橋脚

完成

スイッチをONにしてトミカ(別売り)を置いてください。

ON

ガードレール

エンドどうろ

◆別売りのトミカシステムシリーズと組み合わせて大きく遊ぼう! ◆別売りのループどうろセットと組み合わせたレイアウト例です。

レイアウトサイズ 約W1228×H236×D344mm

坂直どうろ 立体合流どうろ 分岐どうろL 3段スロープ 手動スロープ

坂曲どうろL 1+(5)+(1)+4+1 3+3 8 坂曲どうろL

電動スロープM ダイブどうろ(ダイブどうろ用ガードフェンスは外します) 3段スロープ 直線どうろ

分岐どうろL ループどうろ

END

※写真のトミカは2017年3月現在のものです。